

TOYAMA ていーちゃーず'カレッジ 第3回 開催レポート



第3回ていーちゃーず'カレッジ・県民会館にて

**思いを表現する「実践力」を高め合う。
仲間の意見や励ましが大きな力に。**

今回で第3回を迎えた「TOYAMAていーちゃーず'カレッジ」は、教員採用選考を「知って備える」段階から、「体験し、自分のものにする」段階へ引き上げる一日となりました。今回は、会場の参加者に加え、午後の話にはオンラインの方も参加。回を重ねるごとに、本講座への関心の高まりが感じられました。

年の瀬迫る12月27日(土)に開かれた「TOYAMAていーちゃーず'カレッジ」第3回。県外の大学に通う学生も帰省のタイミングで多く駆けつけました。

**個人・集団面接を体験し、
自身を振り返るきっかけに**

午前のプログラムの中心は、集団・個人面接体験です。参加者が1班・2班に分かれ、まずは面接を「受ける側」として体験しました。個人面接では、面接官役3人に対して面接者1人という、本番に極めて近い設定が組み込まれました。その他の受講生は観察役として参加し、回答内容だけでなく、話し方、声のトーン、姿勢、表情、視線の動きなど、細部にまで意識を向けながら面接の様子を見つめました。演習後には、面接官側に立った受講

生による振り返りが行われました。身振り手振りがあることで話の内容が伝わりやすくなること、視線は一点に集中させるのではなく、複数の面接官に自然に向けた方が良く、抽象的な言葉よりも具体的なエピソードの方が心に残ることなど、多くの気づきが共有されました。

面接体験についての説明



「がいている」という実感が場全体に広がっていきました。



富山県教育委員会による講話

「ちやーず'カレッジ」は、教員という仕事を「目指すもの」から「自分が立つ現実のステージ」へと近づける回となりました。

*

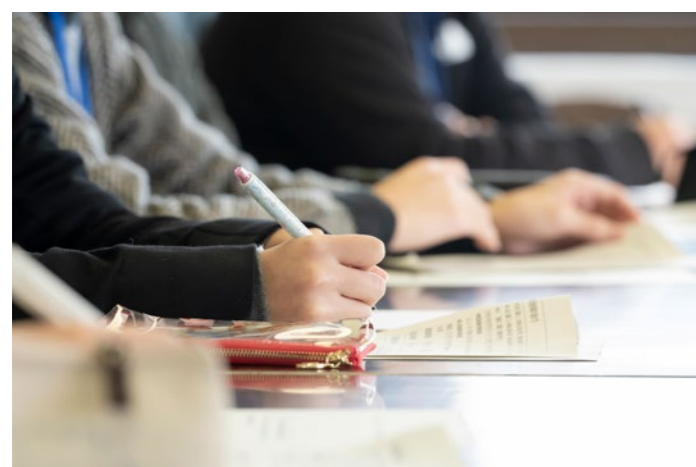
なお、第4回TOYAMAていーちゃーず'カレッジは【2月21日】に開催予定です。これまでの学びを整理し、自分自身の言葉で「教師を目指す理由」を見つめ直す集大成の回となります。引き続き、多くの参加を呼びかけていきます。

**悩みや不安を共有し
仲間と共に乗り越える**

「は強く心に残る」という意見です。自分の経験や価値観を、将来の教育現場にどう結びつけるのか。その視点が、言葉に説得力をもたせることを実感する場面となりました。受け手から評価する側へと立場を変えたことで、これまで気づかなかった自分自身の課題を客観的に見つめ直す貴重な機会となりました。

午後は、受講生同士の情報交換会が行われました。3チームに分かれ、前半はチーム内での話し合い、後半はチーム同士での分かち合いと意見発表、質問交換へと進みました。進路への不安や面接への向き合い方、教育現場への想いなどを率直に語り合う中で、それぞれが抱えている悩みや迷いが共有され、「同じ目標に向かう仲間

最後は、富山県教育委員会による講話が行われました。「とやまで子どもたちと一緒にワクワクした毎日を過ごしませんか?」というメッセージのもと、出願から採用までの流れや、令和8年度教員採用選考検査の結果、制度のポイントについて丁寧な説明がありました。採用試験の仕組みだけではなく、富山で教員として働くことの意義や魅力が、具体的な言葉で語られ、参加者一人ひとりが自分の将来を重ねて考える時間となりました。



教職の魅力発信動画「一生、青春。」公開中!



【教員志望必見!】
「一生、青春」vol.1
富山県教員イメージPV



【教員志望必見!】
「一生、青春」vol.2
富山県教員インタビュー動画



富山県教員採用案内
(富山県 HP)



富山県教育委員会教職員課公式アカウント



(旧 Twitter) @kyousai_toyama

LINE

